

厳かにクリスマス礼拝を 行いました！！

12月19日（土）9:00より、遺愛アリーナでクリスマス礼拝を行いました。コロナ禍でどうするか迷ったのですが、例年のプログラムを思い切って削り、短縮にして実施しました。

いつもは厳かな雰囲気の中で、ハルトベルの演奏、聖歌隊の合唱、学年の歌、クリスマスの聖書朗読と讃美歌を中心に主イエスの降誕物語が展開されます。そして、真っ暗なアリーナの中、一人ひとりが手にしているろうそくに次々と明かりが灯されていきます。隣の人から火を分けてもらい、次の人にそれを分けていきます。アリーナ全体にろうそくの明るさと暖かさが徐々に広がっていく様子は幻想的で壮観であると同時に感動的です。揺らめく炎にいろんな思いが重なります。メッセージが語られ、献金をし、最後はハレルヤコーラスで、主イエスのご誕生を声高らかに全員で賛美していました。1時間半かけて行いますが、今年は新型コロナのために半分に短縮し、学年の歌もハレルヤコーラスもやむなくカットし、私のメッセージの長さも半分以下にしました。しかしキャンドルサービスは、その感動を味わってほしく実施しました。

40分弱のクリスマス礼拝でしたが、主イエス・キリストの御降誕を中高生・教職員全員でお祝いできたのは大きな喜びでした。



講堂のクリスマスツリー



本館のサンタさん

2020年12月23日(水)